

10 国体・障害者スポーツ大会部門

(1) 第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会の開催

① 事業の目的

第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会を開催するため、競技会場や用具の整備、ボランティアの養成、来県者歓迎のための花いっぱい運動や応援団結成、市町村が実施する国民体育大会競技会の運営支援等の開催準備を行うことにより、大会を成功に導く環境整備や県民総参加の機運醸成を図る。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円	千円	千円	千円	千円	千円
7,664,233	△601,034	388,455	—	7,451,654	7,325,128

事業名	事業主体	事業内容	予算額 千円	決算額 千円
第74回国民体育大会推進事業	いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会	第74回国民体育大会の開催及び開催準備 (1) 天皇陛下御即位記念第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体開催 ア 期日 令和元年9月28日(土)～10月8日(火) イ 参加者 総数約771,000人 (2) 実行委員会の運営 ア 総会 2回 イ 常任委員会 1回 ウ 専門委員会 総務企画 1回 (3) 広報活動 ア 両大会開催100日前記念イベント開催 (ア) 期日 令和元年6月23日(日) (イ) 場所 ニューポートひたちなか「フアッションクルーズ」 (ウ) 参加者 約400人 イ 観戦ガイドブック(るるぶ)制作・配布 (ア) 部数 150,000部 (イ) 内容 競技紹介, 観光情報等 ウ 広報紙「そして未来へ」の発行 (ア) 回数 2回(8月, 12月) (イ) 部数 各40,000部 (ウ) 配布先 市町村, 学校, 競技団体等 (エ) 内容 本県選手の紹介, 開催結果等 エ ラッピングバス・列車による認知度向上 (4) オフィシャルショップ設置 2か所(水戸駅, 水戸京成百貨店) (5) 駅等総合案内所設置 5か所(水戸駅, 茨城空港等)	4,488,225 (国庫430,000) (その他4,058,225)	4,451,118 (国庫430,000) (その他4,021,118)

		<p>(6) インターネット中継「国体チャンネル」開設</p> <p>ア 開設期間 令和元年9月7日(土)～10月8日(火)</p> <p>イ 放送内容 全37正式競技決勝戦, 学生取材</p> <p>(7) 県民運動</p> <p>ア 運営ボランティア活動</p> <p>(ア) 内容 開閉会式会場・各競技会場での受付, 案内, 誘導等</p> <p>(イ) 申込者 延べ6,723人</p> <p>イ おもてなし広場運営 大会関係者に飲食・休憩の場を提供するとともに, 茨城の魅力を全国に発信</p> <p>ウ 都道府県応援団 ひたちなか市, 那珂市, 東海村の小中学生約3,400人による, 開閉会式での各都道府県選手団応援</p> <p>エ 花いっぱい運動</p> <p>(ア) 笠松運動公園内 県立江戸崎総合高等学校及び県立農業大学校によるデザイン飾花</p> <p>(イ) 競技会場等 1会場あたり200プランター配布</p> <p>(8) 参加章, 記念章, 両大会メダル作成 選手, 監督, 実施本部員, ボランティア等への交付及び上位(1位～3位)入賞者へ授与</p> <p>(9) 企業協賛金の募集活動 協賛企業(協賛金, 物品等) 22社</p> <p>(10) 競技別リハーサル大会運営費補助金 会場地市町村及び関係競技団体等が開催する競技別リハーサル大会へ補助 補助先 4市</p> <p>(11) 会場地市町村運営交付金 市町村の負担軽減と円滑な大会運営に向けた財政支援 交付先 全市町村</p> <p>(12) 競技役員等養成事業 国体の各競技会運営に必要な審判員等競技役員養成費用の一部を競技団体へ補助 養成者 1,811人(延べ9,974人)</p> <p>(13) 競技用具購入 体操, 水泳, ボクシング競技用具等の購入 <国補(定)></p>		
新規 全国都道府県対抗eスポーツ選手権大会費	いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会	<p>「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019IBARAKI」開催</p> <p>(1) 期日 令和元年10月5日, 10月6日</p> <p>(2) 場所 つくば国際会議場</p> <p>(3) 内容 各都道府県代表チームによる日本</p>	40,345 (その他30,345) (一財10,000)	39,649 (その他30,345) (一財9,304)

		一決定戦 (4) 来場者 約2,500人		
第19回全国障害者スポーツ大会推進事業	いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会	第19回全国障害者スポーツ大会の開催準備 (1) 競技運営準備 各競技団体による競技会場準備, 競技補助員指導, 記録測定・競技結果集計作業のための準備 (2) 競技会場仮施設等設営・管理・撤去等 バリアフリー等も考慮した仮施設, 会場サイン等の設営等 (3) 競技役員養成事業補助金 審判員等競技役員の養成費用補助 6団体 (4) 情報支援ボランティア養成 情報支援ボランティア研修会の開催 ア 委託先 (一社)茨城県聴覚障害者協会 イ 研修会 2回 (5) 選手団サポートボランティア養成 協力校における講座実施 18校 <国補(定)>	2,071,709 (国庫81,000) (その他1,990,709)	2,071,611 (国庫81,000) (その他1,990,611)
障害者スポーツ普及・定着事業	県	障害者スポーツの普及・定着を目的とした寄附講座を筑波大学に設置 (1) 対象 県内の特別支援学校 (2) 内容 学校教育における体育・スポーツの実施状況, 指導者育成	20,000 (一財20,000)	20,000 (一財20,000)
第74回国民体育大会市町村競技施設整備	市町村	競技会場となる市町村施設のうち, 国体施設基準の充足及び中央競技団体正規視察指摘対応のための施設整備を行う市町村への補助 補助先 7市町	389,856 (一財389,856)	389,665 (一財389,665)
馬術競技会場仮設整備事業	県	県立水戸農業高等学校特設馬術競技場の整備・維持・復旧	441,519 (県債12,900) (一財428,619)	353,085 (県債12,900) (一財340,185)
計			7,451,654	7,325,128

③ 事業の成果及び今後の課題

開催準備を着実にすすめ, 選手や関係者約771,000人の参加を得て国民体育大会を盛大に開催することができた。

一方, 全国障害者スポーツ大会については, 令和元年台風19号の接近により, 安全性を最優先に考え, 開会日2日前に開催中止を決定した。

両大会開催を契機に競技会場や競技用具が整備され, 審判員やボランティアの育成が進んだことなどにより, 本県スポーツ振興のための環境が整った。